

## 矢作川水系における総合土砂管理プラン及び総合土砂管理計画策定について

### 1 矢作川水系における総合土砂管理プランと総合土砂管理計画の定義

・矢作川水系総合土砂管理プランは、流砂系一貫の土砂管理の実現に向けた矢作川水系総合土砂管理計画を策定する際の技術指針である。

・矢作川水系総合土砂管理計画は、流砂系一貫として各領域の土砂移動に関する問題に対し必要な対策を講じ解決を図るための計画である。

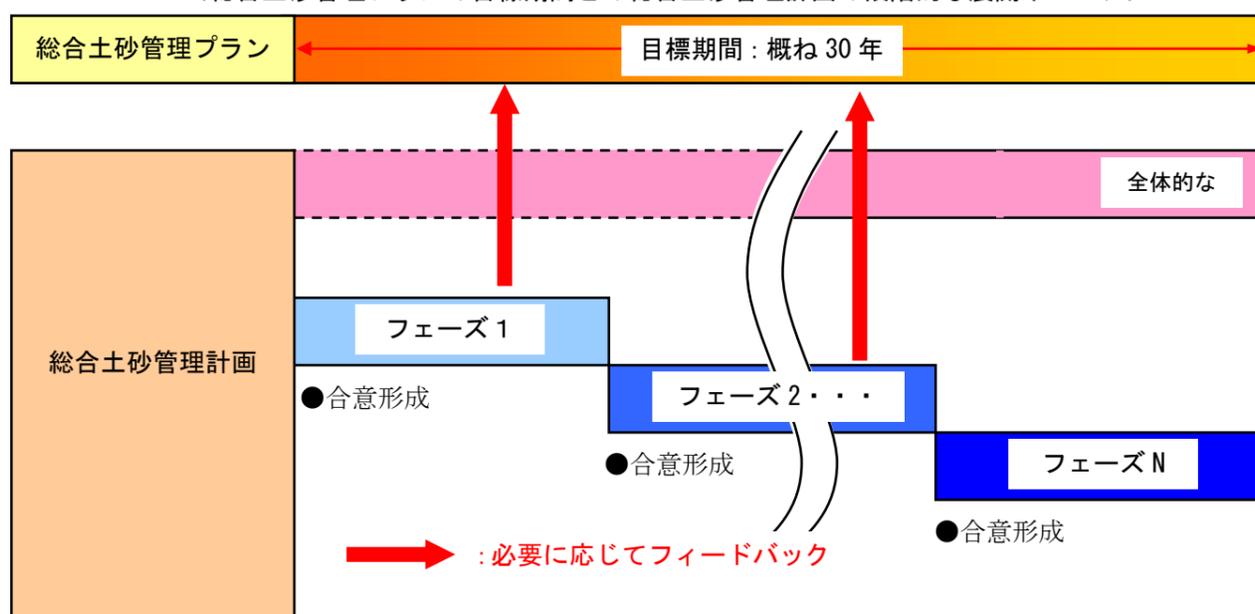
しかしながら、技術的知見の不足や合意形成の観点等から全体的な計画ができない事が懸念される事から、喫緊の課題解決や各機関の事業計画の推進を図る観点で矢作川水系総合土砂管理プランに内包し各機関との協議調整を経て策定する段階的な矢作川水系総合土砂管理計画としてフェーズ1～Nを位置づける。

・矢作川水系総合土砂管理プラン及び段階的な矢作川水系総合土砂管理計画に記載する内容等は右表の通りである。

### 2 矢作川水系における総合土砂管理プラン及び総合土砂管理計画の進め方

・平成25年度以降に矢作川水系総合土砂管理プランを策定し、合意形成を図った段階的な矢作川水系総合土砂管理計画を策定していく。

＜総合土砂管理プランの目標期間との総合土砂管理計画の段階的な展開イメージ＞



＜矢作川水系総合土砂管理プランと総合土砂管理計画に盛り込む項目について＞

		矢作川水系総合土砂管理プラン	段階的な 矢作川水系総合土砂管理計画 (フェーズ1, フェーズ2, …フェーズN)
概要	位置付け	目標期間内に流砂系として 目指すべき姿とするための 技術指針	現実的な実行計画
	目標/対象期間	概ね30年	概ね5～10年を想定 (少なくとも5年サイクル程度でフォローアップ)
	関係機関との合意形成	無	有
	検討の枠組み	矢作川水系総合土砂管理 検討委員会	左記委員会を継続または再編 関係機関による協議会の設立
内容	流砂系の課題	矢作川水系における流砂系の現状と課題	
	土砂管理の基本方針	流砂系一貫の基本方針	
	流砂系を目指すべき姿	各領域を目指すべき姿(理想像)	
	土砂管理目標	各領域を目指すべき姿の達成 に向けた目標	現実的目標(中短期)の設定
	土砂管理シナリオ	有力シナリオを例示し、実現に向 けた評価・検討すべき項目、手法 を明記	現実的目標を達成するための 具体的な土砂収支シナリオ
	連携して取り組むべき方策	各領域での課題、連携の可能性	関係機関の役割分担及び経済性、 実現性面で最適な連携方策 ※関係機関と合意形成が条件
	領域毎の整備メニュー	必要となる整備メニューを想定 例) ・矢作ダムの堆砂対策 ・河道維持掘削 ・河道での土砂堆積対策 ・干潟・浅場の造成 ・河口・海岸領域への土砂還元 ・骨材等土砂有効利用 等	中短期の具体的整備メニュー
	モニタリング	考えられるモニタリング項目 (インパクト・レスポンスを踏まえた)	領域毎の整備メニューを踏まえ たPDCAの観点のモニタリング 計画